

主要地方道 花巻大曲線 小倉山の2工区(西和賀町)
令和6年8月4日全線開通

いわての 道路

令和7年度版



一般国道455号 乙茂工区 袈野地区(岩泉町)
令和7年2月5日開通
(袈野地区の開通により、乙茂工区の全6地区が供用)



高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組



1. 岩手県の概要と道路現況

(1) 位置と地勢

本県は本州の北東部に位置し、東西約122キロメートル、南北約189キロメートルと南北に長い楕円の形をしており、その広さは北海道に次ぐ面積であり、日本全体の4%を占めています。

内陸部の大部分は山岳丘陵地帯で占められ、西部には秋田県との県境に奥羽山脈があり、これと平行して東部には北上高地が広がっています。この二つの山系の間を北上川が南に流れ、その流域に平野が広がっています。これらの山脈を越えるために、峠道が作られ、そこから東西の交流が始まりました。

沿岸部は、宮古市より北では、典型的な隆起海岸で、海食崖や海岸段丘が発達しています。

一方、宮古市より南側は北上高地の裾野が沈水してできた、日本における代表的なリアス式海岸で、対照的な景観をみせています。



南北にそびえる山脈と峠

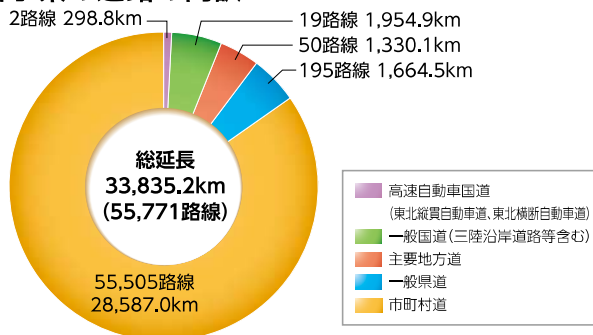
(2) 統計で見る岩手県のすがた

項目	単位	調査時	岩手県	全国	資料出所
総面積	km ²	R6.10.1	15,275	377,976	国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調」
総人口	千人	R2.10.1	1,211	126,146	総務省「R2年国勢調査」
人口密度	人/km ²	R2.10.1	79.2	338.2	
道路実延長	千km	R4.3.31	34	1,230	国土交通省「道路統計年報2023」※国・都道府県・市町村道

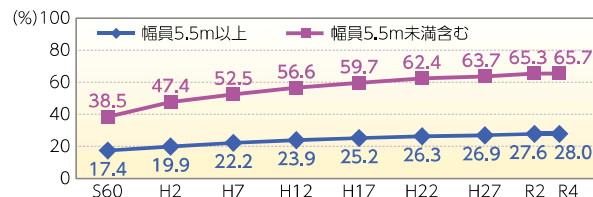
(3) 岩手県の道路現況

出典：岩手の道路現況(令和4年4月1日現在) 道路統計年報2023(令和4年3月31日現在)

岩手県の道路の内訳



道路改良率の推移(国道、都道府県道、市町村道)



岩手県の管理延長

路線

道路種別	路線数	実延長(km)
一般国道	16	1,239.0
主要地方道	49	1,320.3
一般県道	190	1,644.7
計	255	4,204.0

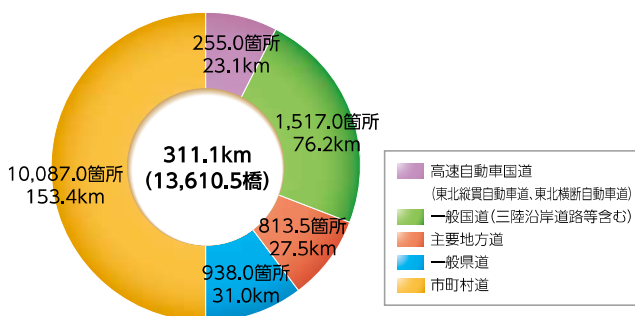
※延長は橋梁・トンネルを含む

橋梁

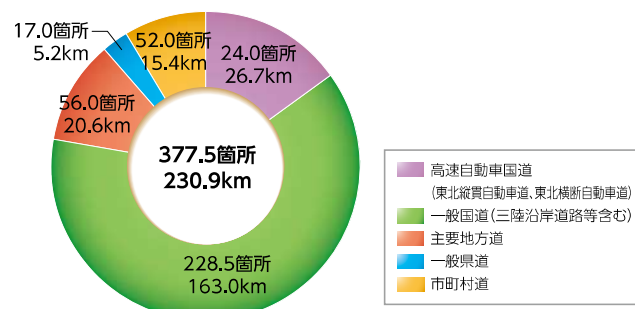
道路種別	橋梁箇所数	延長(km)
一般国道	983.0	37.8
主要地方道	806.5	27.4
一般県道	931.0	30.9
計	2,720.5	96.1

※他県とまたがる橋梁は0.5箇所として計上

岩手県の橋梁延長の内訳



岩手県のトンネル延長の内訳



トンネル

道路種別	トンネル箇所数	延長(km)
一般国道	116.5	72.3
主要地方道	56.0	20.6
一般県道	17.0	5.2
計	189.5	98.1

※他県とまたがるトンネルは0.5箇所として計上

(4) 岩手県の道路構造物ランキング ※県管理施設

● 橋梁延長トップ5

順位	橋梁名	延長	路線	市町村	建設年次
1	藤橋	705m	一般国道343号	奥州市	昭和48年
2	柵の瀬橋	693m	主要地方道一関北上線	一関市	平成30年
3	繫大橋	629m	一般県道繫温泉線	盛岡市～雫石町	昭和55年
4	高館橋	624m	一般県道相川平泉線	平泉町	平成13年
5	新小谷木橋	597m	一般国道397号	奥州市	令和3年



一般国道343号 藤橋
(昭和48年建設)

● 長寿橋梁トップ5

順位	橋梁名	経過年数	路線	市町村	建設年次
1	四日町橋	97年	一般国道456号	一関市	昭和2年
2	明寿橋	94年	主要地方道八戸大野線	洋野町	昭和5年
3	明治橋	92年	一般県道不動盛岡線	盛岡市	昭和7年
3	万代橋	92年	一般県道二戸一戸線	一戸町	昭和7年
5	再巡橋	90年	一般県道西根佐倉河線	金ケ崎町	昭和9年



一般国道456号 四日町橋(一関市)
(昭和2年建設)

※橋長15m以上の橋梁を対象(経過年数は2024年)時点
※歩道橋は対象外

● トンネル延長トップ5

順位	トンネル名	延長	路線	市町村	建設年次
1	新区界トンネル	4,998m	一般国道106号(宮古盛岡横断道路)	宮古市～盛岡市	令和2年
2	平津戸トンネル	3,159m	一般国道106号(宮古盛岡横断道路)	宮古市	令和2年
3	早坂トンネル	3,115m	一般国道455号	盛岡市～岩泉町	平成19年
4	押角トンネル	3,094m	一般国道340号	宮古市～岩泉町	令和2年
5	手代森トンネル	2,625m	一般国道106号(宮古盛岡横断道路)	盛岡市	令和元年



一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 新区界トンネル
(宮古市～盛岡市)
(令和2年12月5日開通)

2. 高規格道路の概要

高規格道路の概要

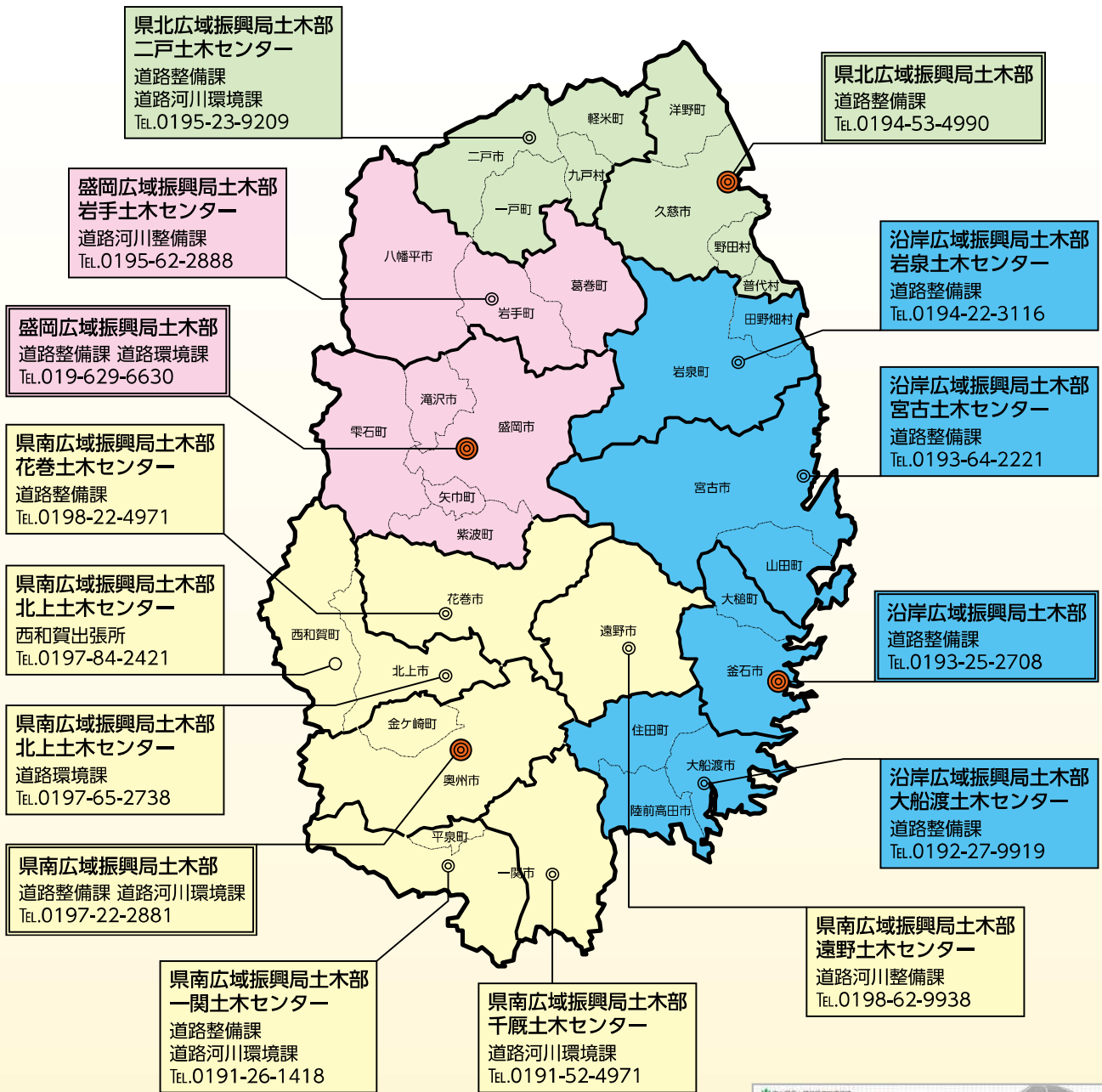
令和7年4月1日現在

(km)

路線名	区間	計画延長				
		a	供用済		事業中	調査中
			b	b/a(%)		
東北縦貫自動車道弘前線	一関市～八幡平市	167	167	100	0	0
東北縦貫自動車道八戸線	八幡平市～軽米町	54	54	100	0	0
東北横断自動車道釜石秋田線	釜石市～西和賀町	112	112	100	0	0
三陸沿岸道路	洋野町～陸前高田市	213	213	100	0	0
宮古盛岡横断道路	宮古市～盛岡市	83	53	64	17	13
盛岡秋田道路	盛岡市～雫石町	30	1	3	0	29

※東北縦貫自動車道八戸線と東北横断自動車道釜石秋田線の延長は、東北縦貫自動車道弘前線との重用延長を除いた数値

3. 県管理道路の問合せ先



岩手県道路情報提供サービス

県内の主要道路に設置されたカメラ映像や通行規制情報などを提供しています。

アクセスはこちらから

PC <http://www.douro.com/>

スマートフォン <http://www.douro.com/sp/>



いわての道路 令和7年度版 (令和7年4月発行)

編集・発行：岩手県 県土整備部 道路建設課・道路環境課
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
TEL：019-629-5866 (道路建設課) / TEL：019-629-5878 (道路環境課)
FAX：019-629-9124

岩手県ホームページ



<https://www.pref.iwate.jp/>

4. いわて県民計画(2019~2028) ~政策推進の基本方向~

いわて県民計画(2019~2028)の政策分野

「健康・余暇」、「家族・子育て」、「教育」、「居住環境・コミュニティ」、「安全」、「仕事・収入」、「歴史・文化」、「自然環境」と、これらの分野を下支えする共通の土台としての「**社会基盤**」、「**参画**」を加えた10の政策分野を設定しています。



社会基盤

防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤や環境が整っている岩手

以下の3つの政策項目について様々な計画・施策を展開していきます。

安全・安心を支える
社会資本を整備します

安全・安心
災害に強い道路ネットワークを構築するため、県土の縦軸・横軸となる幹線道路の整備、緊急輸送道路や代替機能を有する路線の防災機能の強化などを推進します。

日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急医療機関へのアクセス向上など地域の実情に応じた道路整備や冬期間の交通安全対策、通学路の安全確保のための歩道の整備などを推進します。

産業や観光振興の
基盤となる社会資本を
整備します

産業・観光
物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路、工業団地やインターチェンジへのアクセス道路の整備を推進します。

観光の振興を図るため、都市間や主要な観光地を結ぶ道路の整備を推進します。

生活を支える社会資本を
良好に維持管理し、
次世代に引き継ぎます

維持管理
社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため、計画的な修繕を行う「予防保全型維持管理」などにより、適切な維持管理等を実施します。

「いわて県民計画(2019~2028)」を踏まえた道路に関する主な計画

岩手県
新広域道路交通計画

岩手県
道路橋長寿命化修繕計画

岩手県
自転車活用推進計画

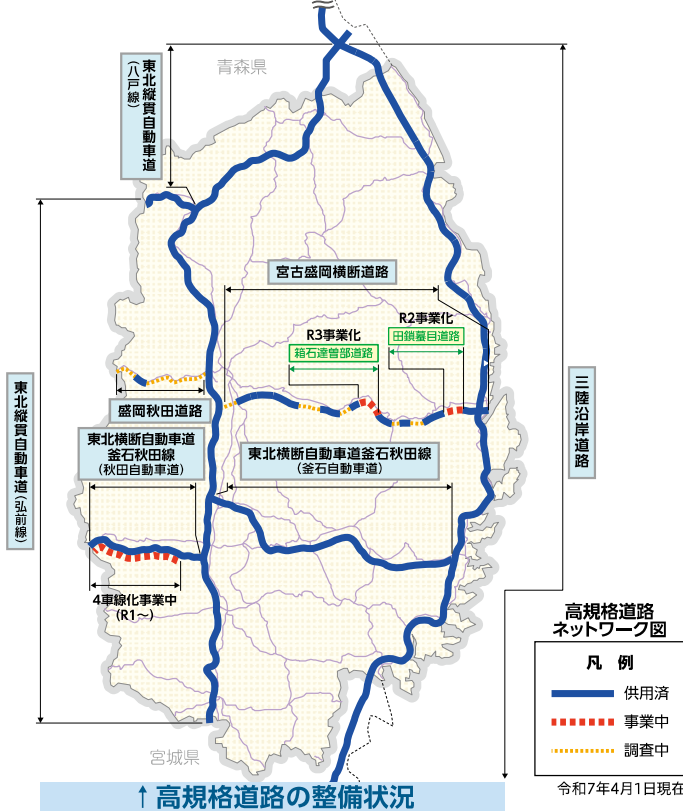
5. 政策項目ごとの道路事業の取組

政策分野 IX (社会基盤) 安全・安心を支える社会資本を整備します。

災害に強い道路ネットワークを構築するため

安全・安心

県土の縦軸・横軸となる幹線道路の整備の推進



箱石達曾部道路に並行する国道106号で発生した道路流出 (平成28年8月 台風第10号)

宮古盛岡横断道路の整備により、災害に強い道路ネットワークを構築します。



法面等変状状況
想定される地すべり面
監視カメラ
国道107号の変状

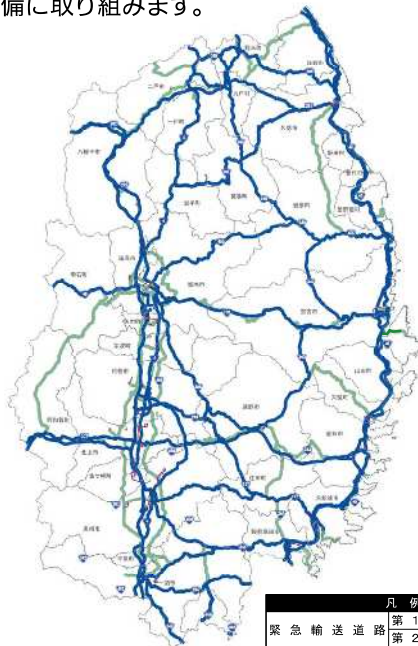
秋田自動車道の4車線化により、道路ネットワークの信頼性の向上を図ります。

緊急輸送道路や代替機能を有する路線の防災機能の強化の推進

緊急輸送道路は、地震等発災後の緊急輸送を円滑かつ確実に実施するために必要な道路として、**地震防災対策特別措置法で位置付けられている路線**です。

こうした緊急輸送道路等のあい路や急カーブ、急こう配などの通行危険箇所の解消、橋梁の耐震化や道路防災施設の整備に取り組みます。

道路改良による防災対策



(主) 軽米種市線 城内(洋野町)
令和6年度事業化(あい路解消)

橋梁の耐震補強



(主) 一関北上線 中里橋(一関市)



(主) 一関北上線 大久保~内堀(奥州市)
令和4年度事業化(冠水解消)

道路防災施設



国道340号 浅内(岩泉町)

日常生活を支える安全・安心なみちづくりのため

安全・安心

救急医療機関へのアクセス向上の推進

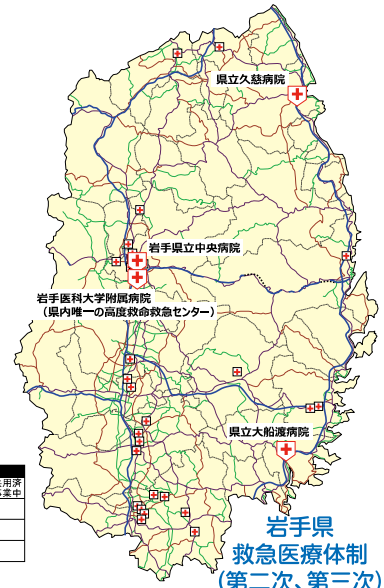
救急医療や地域医療を支援するため、救急搬送ルートへの整備を推進します。



国道107号 白石峠工区(大船渡市～住田町)
令和4年度事業化(県立大船渡病院へのアクセス向上)



国道281号 案内～戸呂町工区(久慈市)
令和2年度事業化(県立久慈病院へのアクセス向上)



凡 例	
第三次救急医療施設	+
第二次救急医療施設 (病院群輪番制 参加病院)	+
高規格道路	—
一般国道	—
主要地方道	—
一般県道	—
	—
	—

通学路の安全確保のための歩道の整備の推進

歩行者の安全な通行を確保するため、通学路等への歩道設置や交通安全施設等の整備に取り組みます。

①通学路の交通安全対策



(一)岩明岩谷堂線 藤里工区(奥州市)
歩道整備

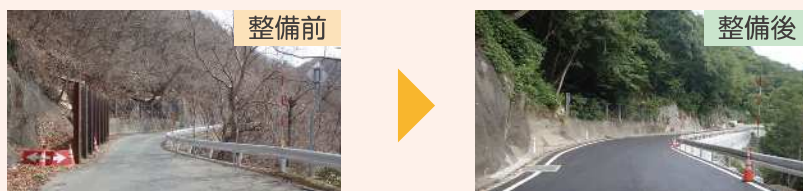
②R3通学路合同点検に係る交通安全対策



(主)上米内湯沢線 米内小学校前(盛岡市)
車止めの設置

地域の実情に応じた道路整備の推進

車両のすれ違い困難等により支障が生じている路線において、通行の安全性を確保するため、待避所設置や路肩拡張などを効果的に組み合わせ、地域の実情に応じた道路の整備を推進します。



(主)釜石遠野線 笛吹峠工区(釜石市～遠野市)

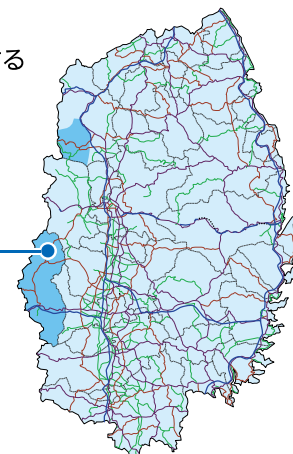
堆雪幅を確保した道路の整備

冬期間の安全で円滑な道路通行の確保を図るため、除雪を着実に実施するとともに、道路除雪に必要な堆雪幅を確保した道路整備を推進します。



(主)盛岡横手線(西和賀町)の堆雪帯整備

堆雪帯の整備により、道路除雪に必要な堆雪幅を確保



岩手県豪雪地帯
指定状況

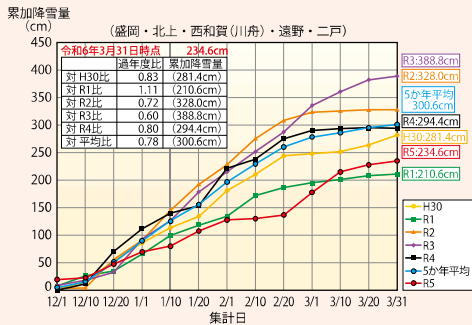
凡 例	
特別豪雪地帯	■
豪雪地帯	■
高規格道路	—
一般国道	—
主要地方道	—
一般県道	—
	—
	—

冬期間の安全で円滑な通行を確保するため 除雪を着実に実施

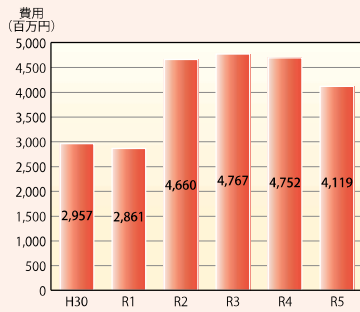
安全・安心

令和5年度の除雪実績・降雪量

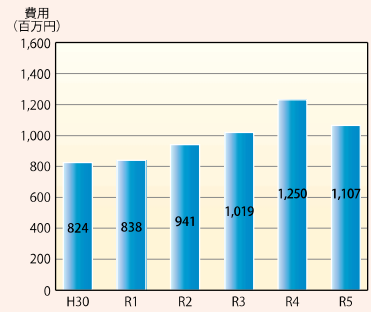
- 【除雪路線】
宮古盛岡横断道路及び一般道路：252路線
- 【除雪延長】
車道：3,862.7km 歩道：1,997.6km 凍結抑制剤散布：2,676.7km
151契約(単独契約110件、JV41件(うち16JVは地域維持型))
- 【除雪機械】
平常時1,168台(県有503台、民有665台)
- 【降雪状況】
県内指定観測5地点平均の累加降雪量：234.6cm(過去5か年平均300.6cmの0.8倍)
- 【除雪費用】
52億7千4百万円(除雪機械稼働台数 16,742台)



主要観測5地点の累加降雪量の推移



除雪にかかる委託費の推移



除雪にかかる需要費の推移

※需用費:燃料費や凍結抑制剤等

除雪に関する広報活動

冬期における地域の住民生活や経済活動を守る重要な仕事である道路除雪について、多くの方に知っていただくために「岩手県建設業協会青年部連絡協議会」では令和4年11月に第1弾、令和5年5月に第2弾のPR動画を作成し、YouTubeで公開しています！



↑ 第1弾『除雪への思い—Thoughts on snow removal—』



県庁1階県民室で放映されたPR動画



↑ 第2弾『The Mission ~いつもの朝をむかえるために~』



YouTubeの動画ページ

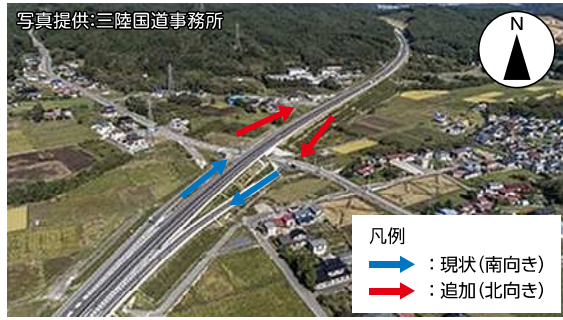
ハーフICのフルIC化による防災機能の強化

安全・安心

防災機能の強化や地域活性化を図るため、国によりICの機能強化が進められています。



洋野種市IC(令和3年度事業化)



山田北IC(令和4年度事業化)

物流・観光の基盤となるインターチェンジの整備の推進

産業・観光

スマートICの整備

スマートICとは

- ETCを搭載した車両に限定し、高速道路の本線やSA、PA、バスストップから乗り降りができるインターチェンジです。

メリット

- 利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、低コストで導入できるなどのメリットがあります。
- 地域の活性化、周辺道路の安全かつ円滑な交通の確保、ICアクセス時間の改善、災害時の一般道路区間の代替などの効果が期待されます。

(仮称)八幡平スマートIC

令和4年度事業化

安比高原を始めとした北いわて地域の観光振興、令和4年8月29日に開校したハロウインターナショナルスクール安比ジャパンへのアクセス向上などの効果が期待されます。



(ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン)



(安比高原)

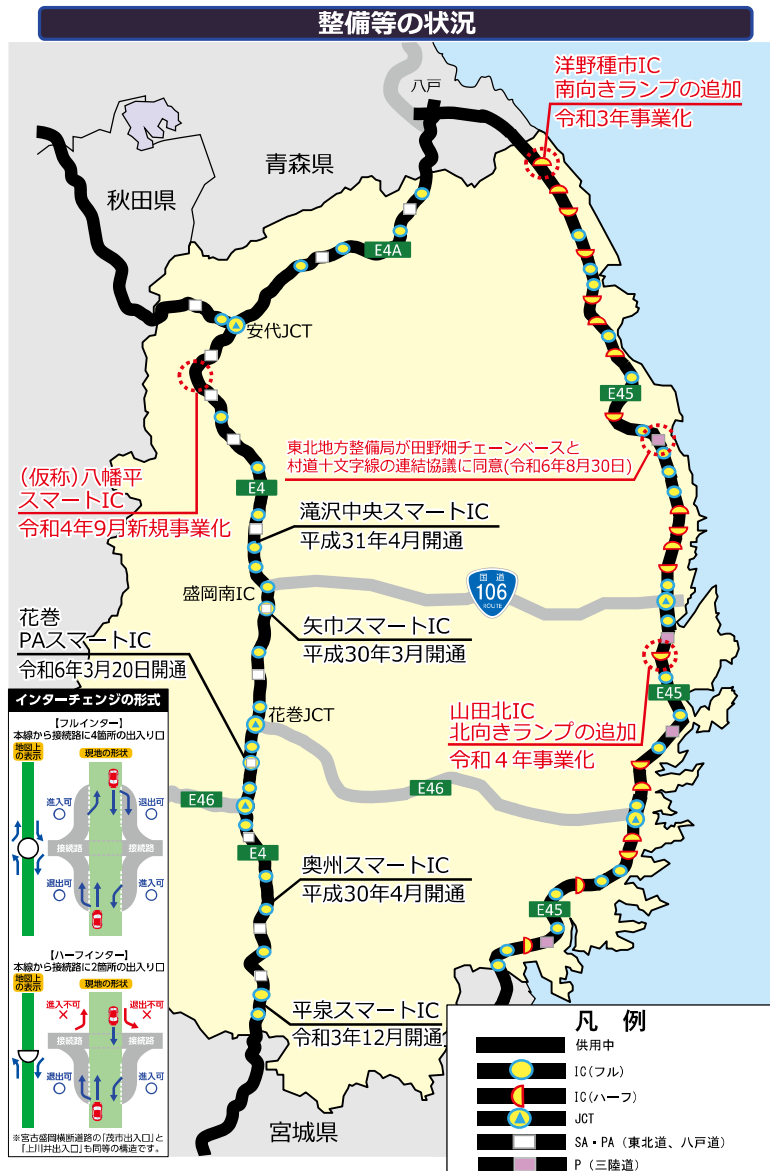
花巻PAスマートIC

令和6年3月20日開通

花巻PA周辺の工業団地などへのアクセス性の向上、円滑な救急医療活動などが期待されます。



花巻PA近隣の製造業(キタ77岩手株第2製造棟)



物流の効率化や生産性の向上を図るため

内陸部と港湾を結ぶ道路、

工業団地やインターチェンジへのアクセス道路の整備の推進

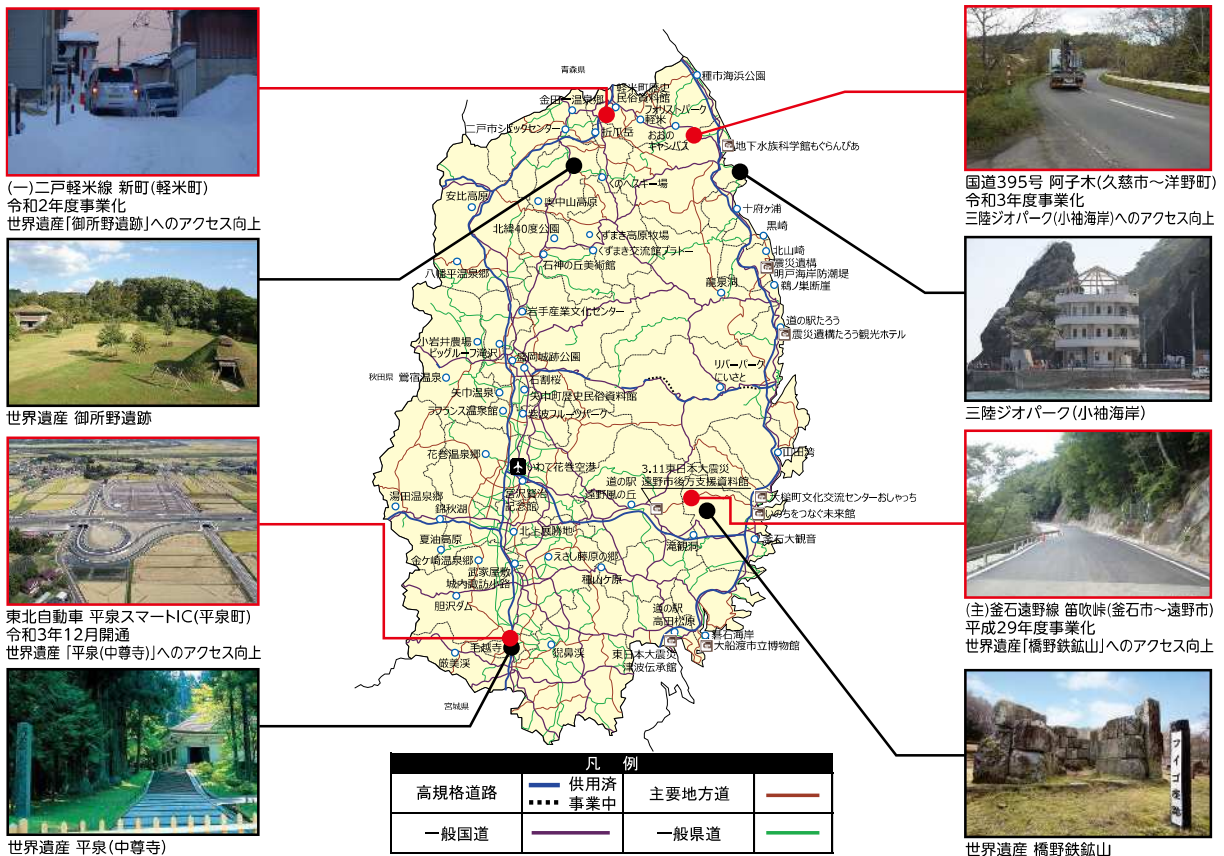


県内の重要港湾、工業団地

観光の振興を図るため

都市間の主要な観光地を結ぶ道路の整備の推進

主要な観光エリアを結ぶ道路等、観光振興に資する道路の整備や道の駅の整備を推進します。



社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため

計画的な修繕を行う

「予防保全型維持管理」などにより、適切な維持管理の実施

社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため、岩手県道路橋長寿命化修繕計画等の道路施設の「個別施設計画」に基づき、適切な維持管理に取り組みます。

道路施設の老朽化対策

定期点検の実施状況



(一) 相去飯豊線 北上横断歩道橋 (北上市)

老朽化施設の対策実施状況



国道 107 号 大荒沢スノーシェッド (西和賀町)

高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組

道路インフラメンテナンスの必要性や重要性の理解向上と、自ら実施した点検が県民の安全な暮らしを支えるという土壌の魅力を感じてもらうことにより、土木業界の担い手の確保・育成を推進するため、令和元年度から県内の土木系学科の高校生との協働による橋梁点検に取り組んでいます。

高校生との協働による橋梁点検のサイクル



メンテナンスサイクルの流れに沿って橋梁のメンテナンスを実習形式で学習

高校生との協働による橋梁点検の成果



点検調査には携わった生徒の名前も記載され橋とともに残っている

高校生との協働による橋梁点検の報告会



高校生が点検結果を県に報告し成果を県政に活用

高校生との協働による橋梁点検の情報発信



国土交通省等が社会資本のメンテナンスに係る優れた取組等を表彰する「第6回インフラメンテナンス大賞」において、本県が取り組んでいる「高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組(高校生との協働による橋梁点検)」が国土交通大臣賞を受賞しました。本表彰制度最高賞の大臣賞の受賞は本県で初めてです。

※ インフラメンテナンス大賞…国土交通省等がメンテナンス産業やインフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に平成28年度から実施している表彰制度。第6回インフラメンテナンス大賞では195件の応募があり、有識者による選考委員会の審査を経て、本県を含む37件(大臣賞9件、特別賞7件、優秀賞21件)が受賞し、令和5年1月に東京都内で表彰式が行われました。



国土交通大臣賞 賞状



斉藤国土交通大臣から賞状を授与

受賞理由

高校生自らが橋梁の点検調査をとりまとめる点が画期的であり、近年対象高校を増やしている。継続的に実施されており、将来の担い手不足の解消に寄与すること、通常の授業では学べない内容であり、学校教育の向上に寄与すること、取組を通じて建設業界への就職が増えていることが評価された。

6. 岩手県新広域道路交通計画

令和3年6月、「いわて県民計画(2019～2028)」に掲げる本県の将来像を踏まえた、広域的な道路ネットワークの長期的な構想である「岩手県新広域道路交通計画」を策定しました。

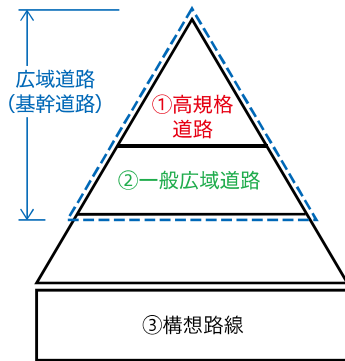
● 広域道路ネットワークの基本方針

○ 高規格道路を中心とした災害に強い道路ネットワークの構築

東日本大震災津波など近年の度重なる災害では、道路ネットワークが寸断され、救援救助活動や支援物資の輸送に多大な影響を与えたことから、災害に強い道路ネットワークを構築し多重性・代替性を確保する。

○ 内陸と沿岸を結ぶ道路や都市間交流を支える道路ネットワークの強化

県内の縦軸、横軸を構成する高規格道路等を基軸として、内陸と沿岸を結ぶ道路や都市間交流を支える道路などの整備を進め、道路ネットワークを強化する。



① 高規格道路

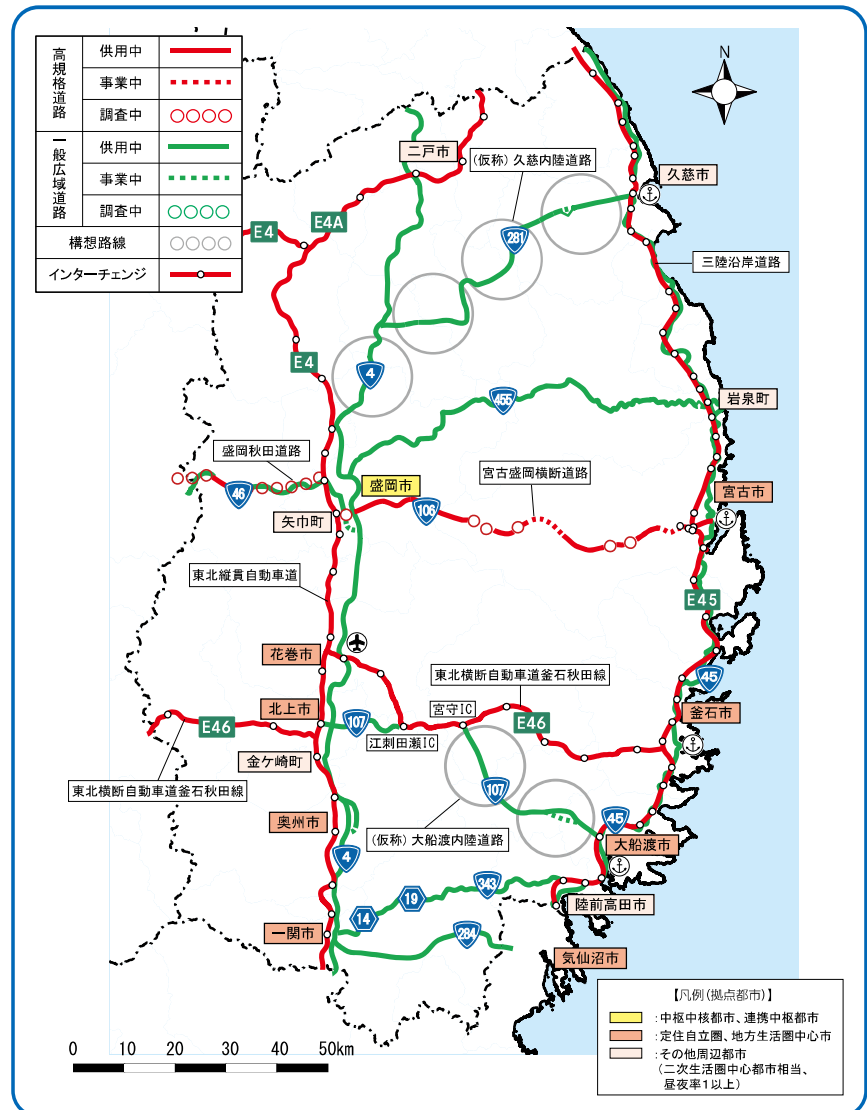
- ・高規格幹線道路(約14,000km)を含め、中枢中核都市や定住自立圏などブロック都市圏間を連絡する道路。
- ・求められるサービス速度が概ね60km/h以上の道路。

② 一般広域道路

- ・中枢中核都市や定住自立圏中心城市、その他周辺都市(二次生活圏中心城市相当、昼夜率1以上)など広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する道路。
- ・求められるサービス速度が概ね40km/h以上の道路。

③ 構想路線

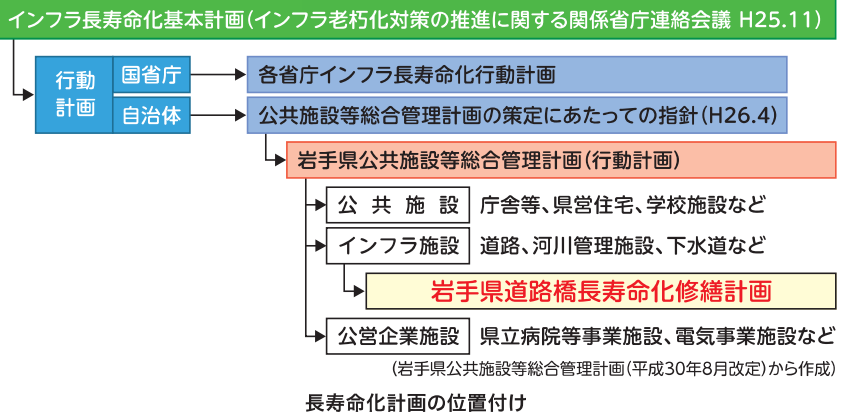
- ・高規格道路としての役割が期待されるものの、起終点が決まっていない等、個別路線の調査に着手していない道路。



広域道路ネットワーク計画図

7. 岩手県道路橋長寿命化修繕計画

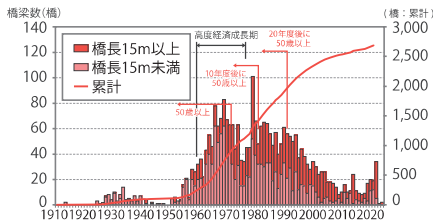
岩手県道路橋長寿命化修繕計画は、岩手県公共施設等総合管理計画における道路橋の個別施設計画に位置付けられ、本県の道路橋の修繕等に関する指針となるもので、道路橋が将来にわたって機能を発揮し続けるため、長寿命化修繕計画に基づき適切な維持管理に取り組んでいきます。



岩手県の道路橋の状況

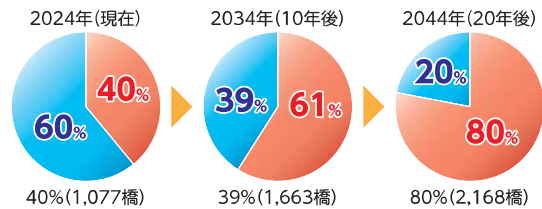
・1980年までに建設された橋が現在の半数以上を占めます。

岩手県管理の建設年度別道路橋梁数



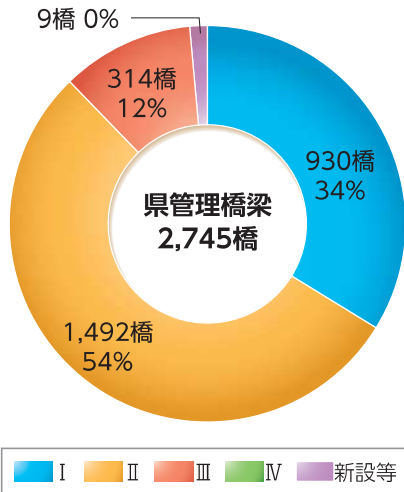
・2044年には、建設後50年を経過する橋が約8割になります。

岩手県管理道路橋 2,745橋



※県管理橋梁2,745橋のうち建設年次が確認できる2,726橋の内訳(令和6年12月時点)

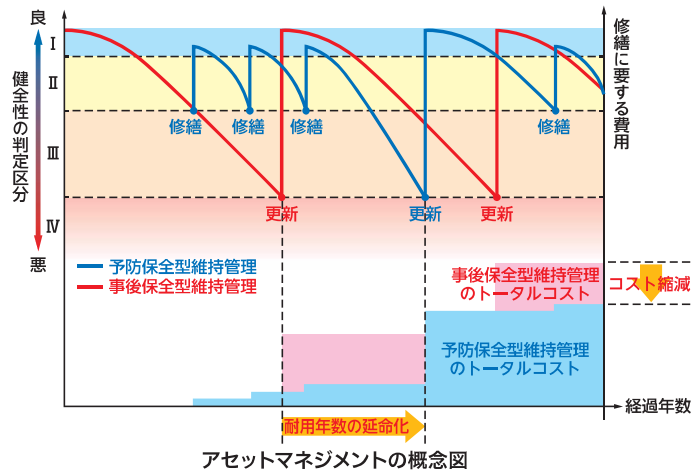
道路橋の健全性内訳



※2019～2023年度の2巡目点検の法定点検結果

道路橋のアセットマネジメント

- ・LCC(ライフサイクルコスト)の最小化
- ・修繕等に要する費用の平準化



アセットマネジメントの概念図

岩手県道路橋長寿命化修繕計画における維持管理目標

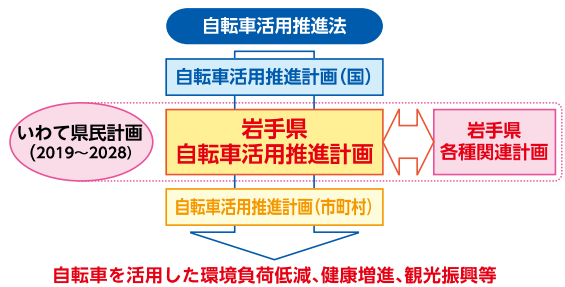
健全性の判定区分	状態	対象となる道路橋	維持管理目標
IV 緊急措置段階	・構造物の機能に障害が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態	・全道路橋	・1年以内の対策着手(損傷状況に応じて速やかに通行規制等の応急対策を実施)
III 早期措置段階	・構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態	・全道路橋	・5年以内(次回法定点検まで)の対策完了(架替を除く)
II 予防保全段階	・構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	・緊急輸送道路上で耐震補強未対策の道路橋	・耐震補強と併せて必要な修繕等を実施
		・その他の道路橋	・次回の法定点検で損傷状況等を確認
I 健全	・構造物の機能に支障が生じていない状態	・全道路橋	・次回の法定点検で損傷状況等を確認

8. 岩手県自転車活用推進計画

本県では自転車を活用した環境負荷の低減、健康増進、観光振興等の促進を目的として、令和3年3月に「岩手県自転車活用推進計画」を策定。

本計画では、「利用環境」、「健康づくり」、「観光振興」、「安心安全」の4つの取組分野を設定し、本件の実情に応じた目標を掲げるとともに、目標を実現するための8つの施策を実施します。

- 計画の期間 令和3年度～令和7年度
- 対象の地域 岩手県全域



I 利用環境 【目標】自転車の利用拡大のための環境創出

施策1 自転車通行空間等の整備・維持管理の推進

- ①自転車通行空間等の整備
- ②自転車通行空間や自転車道等の適切な維持管理
- ③道路標識や道路標示等の改善

施策2 まちづくりと連携した自転車利用環境整備の推進

- ①市町村自転車計画等の策定支援
- ②市町村による路外駐車場の整備等に対する支援
- ③地域のニーズに対応した駐車場の整備促進
- ④市町村のシェアサイクル導入に対する取組への支援
- ⑤自転車利用を促進するための効果的な情報発信



自転車通行空間の整備状況(盛岡市)

II 健康づくり 【目標】自転車利用の促進による健康増進

施策3 サイクルスポーツ振興の推進

- ①自転車関連の大会等の開催の促進
- ②タンデム自転車の公道走行に関する検討
- ③自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)

施策4 自転車を活用した健康づくりの推進

- ①自転車を活用した運動習慣の定着による体力の維持・向上
- ②自転車通勤の促進
- ③自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)



道路環境課 公式Instagram



III 観光振興 【目標】サイクルツーリズム等の推進による観光振興

施策5 地域資源を生かしたサイクルツーリズムの推進

- ①官民連携による広域的なサイクリングルートの整備
- ②サイクルツーリズムを楽しむ観光客の誘客促進
- ③自転車通行空間等の整備(再掲)
- ④自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)

施策6 地域特性を生かしたサイクリング環境の提供

- ①道の駅等のサイクリング環境の向上
- ②サイクリストと連携した快適なサイクリングルートの確保
- ③サイクルトレインの実施への支援
- ④自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)

岩手県広域
サイクリングルート
紹介動画



岩手県広域
サイクリングルート図



岩手県広域サイクリングルート
名称考案者への感謝状贈呈セレモニー
(令和6年6月15日)

IV 安全安心 【目標】自転車を安全に安心して利用できる社会の実現

施策7 自転車の安全利用の促進

- ①安全な自転車利用の促進に向けた交通安全指導
- ②交通安全意識高揚に向けた広報啓発
- ③違法駐車に対する規制等の検討
- ④災害時における自転車活用の検討
- ⑤自転車通行空間等の整備(再掲)

施策8 学校における交通安全活動の推進

- ①児童生徒の安全な自転車利用促進に向けた交通安全教室の開催
- ②高校生の自転車通学ルートの安全点検
- ③自転車通行空間等の整備(再掲)



9. 岩手県の道の駅

「道の駅」は、次の3つの機能を併せ持つ休憩施設であり、本県には、39駅があります。

39駅のうち、「遠野風の丘」が『全国モデル「道の駅」』に、「高田松原」及び「たろう」が『重点「道の駅」』に選定されています。



道の駅 3つの機能

1 休憩機能

24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

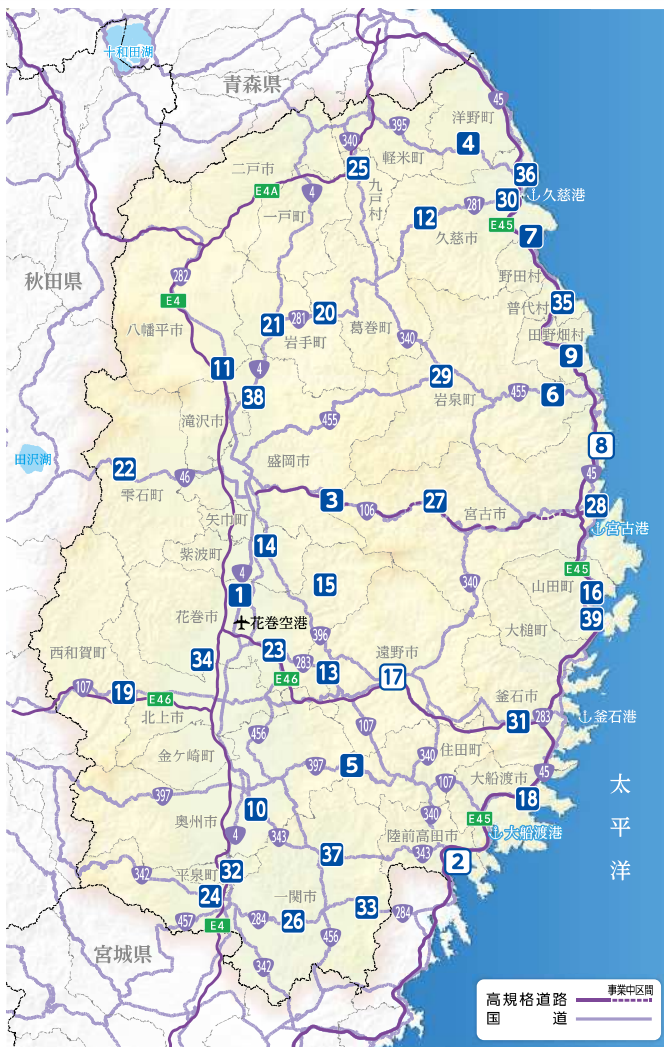
2 情報発信機能

道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供

3 地域の連携機能

文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

- 1 石鳥谷
- 2 高田松原(重点「道の駅」)
- 3 区界高原
- 4 おおの
- 5 種山ヶ原
- 6 いわいずみ
- 7 のだ
- 8 たろう(重点「道の駅」)
- 9 たのはた
- 10 みずさわ
- 11 にしね
- 12 白樺の里やまがた
- 13 みやもり
- 14 紫波
- 15 はやちね
- 16 やまだ
- 17 遠野風の丘(全国モデル「道の駅」)
- 18 さんりく
- 19 錦秋湖
- 20 くずまき高原
- 21 石神の丘
- 22 栗石あねっこ
- 23 とうわ
- 24 厳美渓
- 25 おりつめ
- 26 かわさき
- 27 やまびこ館
- 28 みやこ
- 29 三田貝分校
- 30 くじ
- 31 釜石仙人峠
- 32 平泉
- 33 むろね
- 34 はなまき西南
- 35 青の国ふだい
- 36 いわて北三陸
- 37 だいたう
- 38 もりおか波民
- 39 ふなこし



道の駅 はなまき西南



道の駅 だいたう
(令和7年4月オープン)



道の駅 もりおか波民
(令和7年4月オープン)



道の駅 いわて北三陸

*** 全国モデル「道の駅」 17 遠野風の丘

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に発揮している道の駅として、全国モデル「道の駅」に選定。

東日本大震災津波の際には、後方支援拠点として機能した。岩手県広域防災拠点配置計画の広域防災拠点にも位置付けられ、国の「防災道の駅」にも選定。



重点「道の駅」 2 高田松原

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できる道の駅として、重点「道の駅」に選定。

高田松原津波復興祈念公園内に国営追悼・祈念施設、東日本大震災津波伝承館と共に整備され、令和元年9月に利用開始。



重点「道の駅」 8 たろう

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できる道の駅として、重点「道の駅」に選定。

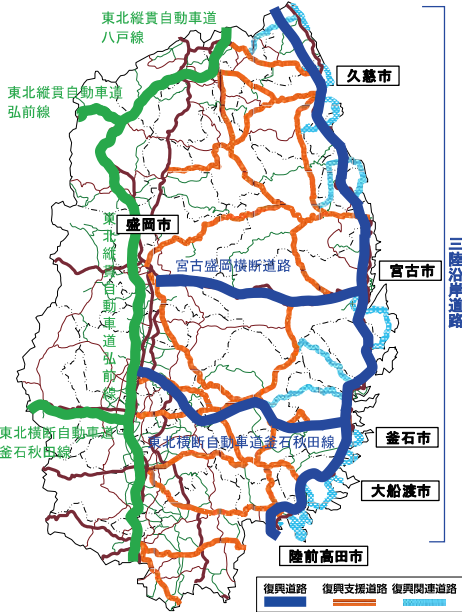
三陸沿岸道路と一体となり、漁業の復興や、田老地区の震災当時の状況などを語り継ぐ「学ぶ防災」の拠点として機能。



【コラム】東日本大震災からの復興 ～復興道路～

東日本大震災からの復興のため、「岩手県東日本大震災津波復興計画(2011-2018)」、「いわて県民計画(2019-2028)」において、復興推進の基本方向復興の目指す姿に「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」を掲げ、安全で安心な防災都市・地域づくりによる復興を推進してきました。

このうち、道路整備については、主に国が整備を進めた「復興道路」に、県による「復興支援道路」、「復興関連道路」、「まちづくり連携道路」の整備を合わせ総延長約457kmのかつてない規模の事業が展開されました。



三陸復興道路整備事業ネットワーク図

各事業の道路整備に係る工区数、整備延長

事業主体	細事業名	整備延長
国	復興道路	270km
	復興支援道路	10km(2工区)
県	復興支援道路	100km(38工区)
	復興関連道路	32km(20工区)
	まちづくり連携道路	45km(32工区)
国と県の合計		457km

※事業延長は整数で端数処理した結果。



(主)大船渡綾里三陸線 赤崎工区 (まちづくり連携道路)

三陸復興道路整備事業～交通ネットワーク～

復興道路

三陸沿岸地域の縦貫軸と内陸部と三陸沿岸地域を結ぶ横断軸の高規格道路整備を促進 (R.3.12月全線開通)

復興支援道路

内陸部から三陸沿岸各都市にアクセスする道路及び横断軸間を南北に連結する道路、インターチェンジにアクセスする道路について、交通隘路の解消や防災対策、橋梁耐震化等を推進 (R.4.3月全線開通)

復興関連道路

三陸沿岸地域の防災拠点や医療拠点へアクセスする道路及び水産業の復興を支援する道路について、交通の隘路の解消や防災対策、橋梁耐震等を推進 (R.4.7月全線開通)

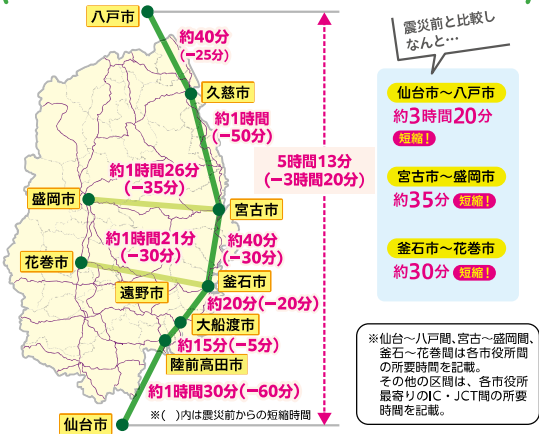
まちづくり連携道路整備事業～防災のまちづくり～

まちづくり連携道路

地域に最も適した多重防災型のまちづくりや災害に強いライフラインの構築などにより、災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくりを推進 (R.4.4月全線開通)

復興道路の主な整備効果

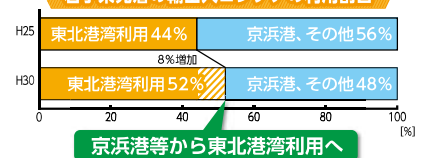
都市間の移動時間が大幅に短縮されました！



※仙台～八戸間、宮古～盛岡間、釜石～花巻間は各市役所間の所要時間を記載。その他の区間は、各市役所最寄りのIC・JCT間の所要時間を記載。
※()内は震災前からの短縮時間

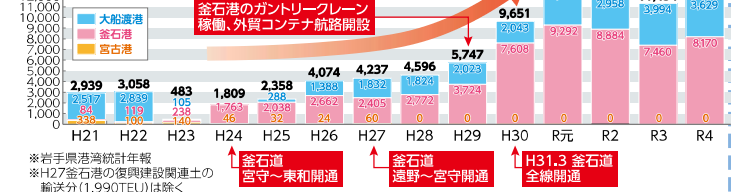
コンテナ貨物量が増加しました！

岩手県発着の輸出入コンテナの利用割合



出典：全国輸出入コンテナ貨物流動調査 (各年11月)

岩手県港湾取扱コンテナ貨物量の推移



エピソード

東日本大震災津波で道路が果たした役割

「釜石の出来事」～子どもたちを救った「命の道」～

地震発生後直ちに避難を開始した釜石市の鶉住居小学校、釜石東中学校両校の児童・生徒らは、約1週間前に開通した三陸沿岸道路を使うことにより、旧釜石第一中学校へ無事に避難することができました。この道路は、通行不能となった国道45号の迂回路として機能し、避難路のみならず、地域の孤立解消を図る、まさに「命の道」としての役割を果たしました。



一般国道45号 鶉住居地区付近 三陸縦貫自動車道(釜石山田道路) H23.3.5開通 写真提供：三陸国道事務所